

2025 年度

清教学園中・高等学校

学校評価

1. めざす学校像

「神なき教育は知恵ある悪魔をつくり、神ある教育は愛ある知恵に人を導く」という建学の精神のもと、「一人ひとりの賜物を生かす」ことのできる質の高い人間教育を行うことをめざす。
清教学園の目指す人間像 ①神を信じ誠実に仕える ②真理を学び賜物を生かす ③隣人と共に平和を築く

2. 中期的目標：

教育の質的向上 ～清教「らしさ」・清教メソッドの確立、および運営の質的向上 ～
1 教育の質的向上 （１）学力伸張を図る （２）社会自立・自己実現に向けた夢を育て、志を形成する （３）高い倫理観と Servant Leadership を育成する * Servant Leadership：「リーダーである人は、まず相手に奉仕し、その後、相手を導くものである」という考え
2 生徒における学校生活の充実 （１）特別活動の充実 （２）生徒指導の充実 （３）生徒支援
3 環境整備力の向上 （１）施設の充実 （２）外部環境への対応 （３）情報の共有化と発信力の促進

3. 学校評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見

学校評価アンケートの結果と分析〔2025 年 12 月～2026 年 3 月実施分〕	学校評価委員会からの意見
今回より、回答のしやすさを考慮し、質問事項および質問数を改訂した上でアンケートを実施した。ただし、経年変化を見ることができるよう中期的目標におけるカテゴリーは従前の通りとした。	2026（令和 8）年 3 月 28 日に 2025（令和 7）年度の学校関係者評価委員会を開催した。この学校関係者評価委員会は、保護者会関係者、地域居住者、および学園評議員によって構成されている。なお、評議員の選定については、寄附行為に基づき、学識経験者、学園卒業生、および学園教職員の三つの枠を設けた上で行われている。
<評価結果の高い項目> ※ 数値は AB の回答率（％） [*A を最良とする ABCD の 4 段階評価]	
【中学生】	【保護者会関係者からの意見等】
図書館教育は知的関心を高めるのに役立っている	・「部活動が勉強の時間確保に工夫されているか」についての評価が少し下がっているのは、必ずしも生徒の不満を表しているとは言えないのではないか。自らすすんで部活動に力を入れている生徒も多いと思われるし、勉強ができていない点の口実の一つにしている生徒もいるのではないか。実際、保護者においては、この項目について比較的高い評価を与えているとも言えるように思われる。
姉妹校などによる交流や語学研修・留学制度が充実しており、グローバルな視点が養えている	・校舎の古さ等に起因している不満が示されている面はあるが、現在改善中の施設整備もあり、全体的には高評価を得ているように思われる。
キリスト教に基づく宗教・人権教育が重要視されている	・自己評価の基準が A と B の合計によるものとされているが、より詳しく見ていけば、「充実した学園生活を送っている」では A の割合が高く、愛校心、国際教育、学校行事等でも A の割合が高い。A と B の合計で自己評価をしているとはいえ、これらの項目で A 評価の割合が高いのは他校とは違う清教学園の評価につながると思われ、特筆に値する結果だと言えるのではないか。
教員は熱心に指導している	→「部活動が勉強の時間確保に工夫されているか」については、生徒によって見方が違うと思われる。部活動にも熱心で勉学との両立を何が何でもめざしているという生徒もいれば、勉学との両立をめざしたいものの日曜にも部活動があって困っているという生徒もいる。本校生徒たちの世代ごとの特性も踏まえながら、生徒たちの成長に資するバランスの良い学校生活のあり方を丁寧にこれからも形作っていくように努め続けたい。また、施設設備については生徒たちの学習環境がより快適なものとなるよう、また何よりも安全がしっかり確保されたものとなるよう出来る限りの最善を尽くしていくようにしたい。
知り合いや後輩に学園への入学を勧めたい	
学校行事は生徒が積極的に参加できるよう工夫されている	【地域居住者からの意見等】
規則遵守やマナー・美化意識等を高める指導がされている	・中学生において、図書館教育・国際教育・キリスト教人間教育のいずれもが高い評価を得ており、このことが知人や後輩に学園への入学を勧めたいという評価にも繋がっているように思います。学園が所在する河内長野市では公立中学校で探究型の学びをより充実化させるという教育施策が進められていますが、清教学園には探究分野での地道かつ質の高い実績の蓄積がありますので、学園の持つ強みとして中学での探究的な学びをこれからも大切にするとともに、さらにレベルを上げた取り組みを展開してほしいと思います。
生徒は充実した学園生活を送っている	→ 毎年年度末に実施される探究フェスでは生徒たちの探究的な学びの成果を地域の方々にもご覧いただき、地域振興のために為される若い世代からの起案の機会といった形でもご活用いただくできています。
家庭への連絡は適切に行われている	
P T A 活動が盛んで、生徒・学校の活動を支援している	
いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	
災害や不審者から生徒の身を守ることができるように配慮している	
ウェブページ・公式 SNS や広報誌は学園の取り組みを知るのに役立っている	
【高校生】	
生徒は充実した学園生活を送っている	
教員は熱心に指導している	
姉妹校などによる交流や語学研修・留学制度が充実しており、グローバルな視点が養えている	
学校行事は生徒が積極的に参加できるよう工夫されている	
悩みや相談に親身になってくれる教員や職員がいる	
【中学保護者】	
学校行事は生徒が積極的に参加できるよう工夫されている	
P T A 活動が盛んで、生徒・学校の活動を支援している	
規則遵守やマナー・美化意識等を高める指導がされている	
教員は熱心に指導している	
知り合いや後輩に学園への入学を勧めたい	
生徒は充実した学園生活を送っている	
キリスト教に基づく宗教・人権教育が重要視されている	
図書館教育は知的関心を高めるのに役立っている	
ウェブページ・公式 SNS や広報誌は学園の取り組みを知るのに役立っている	
家庭への連絡は適切に行われている	
いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	
悩みや相談に親身になってくれる教員や職員がいる	

【高校保護者】		【学識経験者からの意見等】	
規則遵守やマナー・美化意識等を高める指導がされている	97.1	・毎年、アンケートのたびごとに、考えなければならない問題に真摯に向き合い直し、解決の方向へ努力している様子を伺うことができている。	
P T A活動が盛んで、生徒・学校の活動を支援している	97.1	・中学生・高校生ともに、教員の熱心で親身な指導や、物理的・心理的な安全性への配慮に対して、全体として満足度が高いことがうかがえた。日常の教育の積み重ねが、生徒にしっかり伝わっていると感じる。	
学校行事は生徒が積極的に参加できるよう工夫されている	95.7	・清教学園の特徴である留学などのグローバル教育や、キリスト教に基づく宗教・人権教育についても、理解と満足が得られている点は印象的である。加えて、「他者に入学を勧めたい」とする回答が前回より増えていることから、学校への信頼の高まりが感じられる。その一方で、部活動の時間のあり方や、自習室の利用時間などについては、現在の生徒の生活スタイルに合わせた見直しが必要である可能性が考えられる。食堂やパンの利用についても関心が高く、実際に利用しやすい環境づくりについて、今後検討の余地があるように思われる。これらは従来の「教育」の枠をやや広げた生活面での支援に関わる内容であり、学校としてどの程度まで対応していくかについては、今後の検討課題の一つであると感じられる。時代の変化に応じた学校の在り方について、引き続き考えていく必要があるだろう。	
生徒は充実した学園生活を送っている	95.5	・「キリスト教に基づく宗教・人権教育が重要視されているか」という点については、生徒・保護者では高い評価であったのに対し、教職員ではやや低い結果となっていた。この違いについては、教職員がより高い水準を意識していることの表れとも考えられ、今後のさらなる充実につながる視点として受けとめたい。	
教員は熱心に指導している	94.9	・アンケート内容の改訂では設問数が集約されましたが、学園における生徒の日常、教職員の取り組み、保護者や社会とのつながりが確認できる内容となっており、回答がしやすいように思われた。	
知り合いや後輩に学園への入学を勧めたい	94.1	・高校生自身による評価が中学生と比較して全体的に低い結果になっています。高校生が希望する進路は中学時代よりも、より具体的にまた多様になり、生徒全員の満足度を高めることは難しくなりますが、清教学園における最終の学種である高校での生徒評価を中学生における評価に近づくようアンケートの結果を生かして欲しいと希望します。	
いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	94.1	・保護者における評価内容は、中学・高校とも全体的に良い評価をいただいていると受けとめることができるように思います。とりわけ中学よりも高校で多くの高評価を届けていただいたことは、清教学園の教育活動に携わる者たちにとって心強い結果であると言えます。生徒たちが学びを進めて成長していけばいくほど保護者による評価も高まっている証として、今後も真摯に教育に向き合わせていただくための糧にしてもらいたい。	
キリスト教に基づく宗教・人権教育が重要視されている	92.9	→ 昨今の教育活動においては、指摘をいただいたように生活面での支援といった内容もこれまで以上に重要であり、生徒の成長に必要な要素について内外の識者にも協力を仰ぎながら改善をますます進めたい。学園の教育活動上での特色とその成果状況については、識者から今回も高い評価をいただいたことを励みにして、さらなる質の向上を図ることに努めたい。	
家庭への連絡は適切に行われている	92.1	・学力がつくかどうかに関するアンケートでは、どの程度の学力がつくことを求めているのかといったことも見ていくべきではないか。改善につなげるには、そうしたこともさらに必要ではないか。	
悩みや相談に親身になってくれる教員や職員がいる	91.7	→ 自習室の開室時間についての延長要望等も踏まえ、生徒たちにおける学力向上への願いを叶えるために必要な具体的な施策をさらに講じていくべき段階である。生徒たちの進路選択にますます関わりを持ってきた総合型選抜の大学入試のありかたも見据えながら、生徒たちの学力面での習熟度・達成度のいかにについていっそう留意できる前提状況を整えられるようにしたい。	
ウェブページ・公式 SNS や広報誌は学園の取り組みを知るのに役立っている	91.4		
姉妹校などによる交流や語学研修・留学制度が充実しており、グローバルな視点が養えている	91.3		
ICT 環境は学習理解を深めている	90.9		
生徒は学園がめざす人間像（真理を学び賜物を生かすなど）を理解している	90.7		
教員はどの生徒にも公平に接している	90.2		
【教職員】			
生徒は充実した学園生活を送っている	98.7		
悩みや相談に親身になってくれる教員や職員がいる	97.6		
家庭への連絡は適切に行われている	97.5		
図書館教育は知的関心を高めるのに役立っている	96.3		
教員は熱心に指導している	96.3		
塾・予備校に行かなくても学校の勉強（授業や補習等）で十分な学力がつく	93.8		
将来、働きたい仕事や大学・社会で学びたい分野をイメージするための情報が提供されている	93.8		
いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	93.8		
P T A活動が盛んで、生徒・学校の活動を支援している	93.8		
姉妹校などによる交流や語学研修・留学制度が充実しており、グローバルな視点が養えている	92.6		
学校行事は生徒が積極的に参加できるよう工夫されている	92.5		
知り合いや後輩に学園への入学を勧めたい	91.6		
＜評価結果の低い項目＞ ※ 数値はABの回答率〔％〕　〔*Aを最良とするABCDの4段階評価〕			
【中学生】			
部活動は勉強の時間が確保できるよう配慮されている	68.5		
塾・予備校に行かなくても学校の勉強（授業や補習等）で十分な学力がつく	79.3		
【高校生】			
部活動は勉強の時間が確保できるよう配慮されている	67.2		
トイレ設備が整備されている	72.1		
塾・予備校に行かなくても学校の勉強（授業や補習等）で十分な学力がつく	74.9		
教員はどの生徒にも公平に接している	76.0		
図書館教育は知的関心を高めるのに役立っている	77.6		
自習室・ラーニングコモンズは利用しやすい	78.7		
ウェブページ・公式 SNS や広報誌は学園の取り組みを知るのに役立っている	79.7		
食堂（パンおよびテイクアウトを含む）は利用しやすい	79.7		
【中学保護者】			
食堂（パンおよびテイクアウトを含む）は利用しやすい	61.8		
塾・予備校に行かなくても学校の勉強（授業や補習等）で十分な学力がつく	73.9		
【高校保護者】			
部活動は勉強の時間が確保できるよう配慮されている	71.8		
塾・予備校に行かなくても学校の勉強（授業や補習等）で十分な学力がつく	73.7		
【教職員】			
キリスト教に基づく宗教・人権教育が重要視されている	61.3		
部活動は勉強の時間が確保できるよう配慮されている	68.8		
規則遵守やマナー・美化意識等を高める指導がされている	77.5		
ウェブページ・公式 SNS や広報誌は学園の取り組みを知るのに役立っている	77.6		
＜全体総括＞			
今回の学校評価は、質問事項及び質問数を改訂して実施されたが、中高ともに総じて、現時点における良好事項および課題事項が適切に把握できる結果内容であったと理解している。			
中高とも生徒たちにおいては、教員の熱心さ、グローバル教育、学校行事への工夫が高く評価され、学校生活が充実していると実感してくれています。中高とも保護者および教職員は、いじめ対策、親身な相談、PTA 活動、家庭への連絡が高く評価されており、学園全体で生徒の学びと学校生活を支援する意識が高いことの証左となっている。それはまた、知り合い等に学園への入学を勧めたいとの評価が例年以上に高まったことから分かる。生徒たちの学びの環境をさらに充実化させ、各生徒の成長段階に応じた個別最適な教育がより効果的に行われるようにしてきた今年度の取り組みの成果が理解いただけたと思われる。			
他方、中学・高校共通の課題事項として、部活動と学業の両立での負担感の軽減、学習面での達成感のさらなる必要性といったことが今回も挙げられる状態となりました。課外活動に関しては、学校行事への参加における工夫という点で評価が高まった今年度の成果を踏まえつつ、部活動との両立についても学業第一の大原則のもと状況改善に取り組んでまいります。			

4. 本年度の取組内容及び自己評価

中 期 的 目 標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 教育の質的向上	(1) 学園の教育理念への十分な理解に基づく学業生活の推進	ア. 礼拝への積極的な参加を促すことをはじめ、こころの教育のさらなる充実を図り、宗教・人権教育が重要視されていることが十分に理解されるように努める。	学校評価アンケートにおける結果を分析することを通じて評価するのを基本とする。 ア. 学園のめざす人間像、およびキリスト教に基づく宗教・人権教育が重要視されているかに関する評価結果が、どの評価対象枠においても 80%以上	□教育理念・独自性 「建学の精神」および「愛校心」に関する評価結果は、多くの生徒・保護者においてこれまでと変わらず概ね良好です。キリスト教に基づく「心の教育」については、教員において目標の高さゆえの課題感が依然としてあるものの、本校の教育理念を生徒・保護者に理解してもらいいただける状況はこれまで同様に変わらず安定的です。高校生においても「知り合いや後輩に学園への入学を勧める」に関して 90%近い評価を得るまで高まってきています。授業料完全無償化の制度が進む中で受験生における高校選択の幅が増えた状況下、学園の基本姿勢が志願・入学時の期待度に適ったものであるか、生徒一人ひとりに対する向き合いに努めることを今後もいっそう図ってまいります。
	(2) 学力向上をもたらす学習指導の工夫および生徒の自主的な学習姿勢の育成	イ. バランスの取れた教育活動を通じて、生徒の自律・自立を促し、自己肯定感を高める取り組みを推進する。 ウ. グローバルリーダー育成のプログラムをさらに積極化・多様化させ、生徒において国際交流活動が身近なものだとさらに認識されるように図る。 エ. ICT 等の積極的な活用をはじめ、生徒における授業内容の理解を促すような工夫を継続する。	イ. 生徒が充実した学園生活を送っているかに関する評価結果がどの評価対象枠においても 80%以上 ウ. 姉妹校による交流や語学研修・留学制度が充実しているかに関する評価結果がどの評価対象枠においても 80%以上 エ. 学力向上につながる授業が多い、および ICT 環境が学習理解を深めているかに関する評価結果がどの生徒においても 80%以上	□特別活動 課外の特別活動に関しては中高とも生徒たちにおける評価が高く、生徒たちは主体性を発揮する場として楽しんでくれています。年々少しずつ改善傾向が認められるものの、中高とも「部活動は勉強の時間が確保できるように配慮されている」に関しては今後も留意を続け、生徒たちの様子をしっかりと見ながら、懸念されうる課題状況が起こらないように日々取り組んでまいります。本校の部活動方針には「学業第一」の大原則が掲げられておりますので、国や府の部活動ガイドラインを遵守した活動となるよう配慮を重ね、早期の状況把握に向けて必要な取り組みをさらに強化します。本校の特色である国際交流・グローバル教育や探究活動に関する課外でのチャレンジ機会については総じて好評であり、希望者制プログラムやプレゼン機会へのエントリー人数の多さからも分かります。
	(3) キャリア教育の拡充を含む進路指導の充実化	カ. 将来つきたい職業のイメージを喚起できるような機会を増やし、進路に関して明確な夢・目標が持てる指導を図る。	カ. 「将来、働きたい仕事や大学・社会で学びたい分野をイメージするための情報が提供されている」「将来の進路を実現するために必要な指導がされている」に関する評価結果が生徒・保護者において 80%以上	□学習指導と進路指導 学習指導に関しては、中高ともに「学校の勉強」のみで「十分な学力がつく」という点で、習熟感や達成感をいっそう高める必要性が見て取られる評価結果でした。生徒たちに学びにおける充実感を存分に実感してもらえるよう、また保護者において学習面や進路意識面での生徒の日々の成長を感じ取っていただけるよう、努力を重ねていきます。実際、進路指導では、「将来、学びたい学問」や「将来、働きたい仕事」を学ぶための多くの企画が実施されています。これまでは中学生に対するアプローチについて課題があるとされることもありましたが、中学生も高校生も共に参加できる機会を増やし、大学受験への緊張感をもって臨む高校生の姿を見ることによって、中学生における意識向上が確実に認められました。

2 生徒における学校生活の充実	(1) リーダーシップの育成にも資する特別活動の充実化	ア. 生徒が主体となって参加・運営する学校行事のあり方を追求していく。	ア. 「学校行事は生徒が積極的に参加できるように工夫されているか」に関する評価結果がどの評価対象者枠においても 80%以上	□生活関係・生徒支援 生活関係の事項については、キリスト教主義の学園として、どんな場面においても、一人ひとりの生徒に寄り添う基本姿勢を大切にして指導等に臨んでいます。評価結果について概観するに、2024 年度についても、その基本姿勢を理解いただいていると捉えられます。また、いつも高評価をいただく図書館教育はもとより、生徒たちの個性あふれる学校生活を支える各種の取り組みについても、これまでと変わらず信頼をいただいています。ただ、自習室活用では、高校生において評価が下がりました。どの学年でも自学習の大切さが伝えられ、自学習の習慣づけに関する指導が手厚くされていますが、そのことに伴って通常教室とも異なった環境の自習スペースが高校生たちに望まれてきているといった可能性もあります。生徒たちの一日の過ごし方をさらに有意義なものとし、地道に学びに臨むことのできるような環境づくりについてさらなる検討を進めます。今後も、生徒たちの学校生活の彩りを豊かにする工夫を重ねていきます。
	(2) 社会性の高まるような生徒指導の充実化	イ. 勉学と課外活動の両立を謳う本校においてはとくに、両者のバランスがきちんと確立されているということが求められており、学内外の関係者において納得してもらえる状況を作っていくのが重要である。	イ. 「部活動は勉強時間が確保できるように配慮されているか」に関する評価結果がどの評価対象者枠においては、80%以上	
	(3) 生徒が安心して学校生活がおくれるような生徒支援の推進	ウ. 規則遵守の促進、美化意識の向上、いじめのない学校作りへの取り組みを通じて、学校生活における基本的環境を整えられるように図る。	ウ. 「規則遵守やマナー・美化意識等を高める指導がされているか」・「いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」に関する評価結果の平均値がすべての評価対象者枠において 80%以上	
		エ. 生徒のメンタルヘルスの維持のため、親身になって対応にあたるように努める。それにあたっては、専門家との連携も進め、カウンセリングマインドの醸成をさらに図りたい。	エ. 「悩みや相談に親身になってくれる教員がいるか」に関する評価結果がどの評価対象者枠においても 80%以上	

3 環境整備力の向上	(1) 施設の充実	ア. 自習室の環境をより良いものとし、生徒たちが自学自習の習慣を身につけられるように図る。	ア. 「自習室は利用しやすいか」に関する評価結果がどの評価対象者枠においても80%以上	□教育環境設備・学校運営 かつての学校評価結果に基づき 2022 年度から 2024 年度にかけてトイレ改修工事を進め評価結果が高まりましたが、他方 M 棟を中心に未改修の箇所については改善要望が高まる状況となっています。学校生活上の環境の整備については引き続き対応を進めてまいります。生徒の生活環境たる施設設備について、計画的かつ全体的な推進を図ります。また、ICT 等の教具の適切な更新と同時にさらなる質向上や拡充にも努め、新しい時代に求められる教育のありように応えていくことのできる私学らしい環境を提供できるように努めてまいります。 また「情報公開」については、これまでの評価結果を踏まえ、Instagram の活用状況などをより周知してきたこともあり、保護者における評価結果が向上しました。ただ、昨年度は高校生において数年ぶりに A 評価と B 評価の合計が 80% を超えたものの、今回は 79.7% となり、及第点としている 80% にごく僅かながらも達しませんでした。学園の教育活動をより広く理解いただくと同時に、生徒たち自身が自分たちの頑張りについて発信内容をもとに肯定的に実感できるよう、さらなる状況改善に取り組ませていただきます。 そして安全面については、昨年度に引き続き生徒・保護者・教員のすべての区分において及第点に足る評価結果を得ています。通学路・敷地内ともに定期点検の拡充的な実施や修繕・更新など各種対策を地道に続けてまいります。これからは生徒たちが安心して成長していくことのできるキャンパスとして、入校者管理の徹底など防犯面でのさらなる強化を図り、校地全体の安全確保を確実かつ迅速に進めてまいります。
	(2) 外部環境への対応	イ. 利用しやすい食堂となるように改善を進める。	イ. 「食堂は利用しやすいか」に関する評価結果がどの評価対象者枠においても80%以上	
	(3) 情報の共有化と発信力の促進	ウ. 通学路の保守をはじめ、災害や不審者から生徒の安全を守るためのさらなる努力を重ねたい。 エ. 保護者との連絡を密に行うことを通じて、生徒の学内外における状況を的確に把握し、健全な成長を促す環境形成を図りたい。	ウ. 「災害や不審者から生徒の身を守ることができるよう配慮している」についての評価が、中学生・中学保護者・高校保護者において、80%以上。 エ. 「家庭への連絡は適切に行われている」についての評価が、全評価枠において80%以上	
		オ. ホームページや公式 SNS や広報誌を通じた発信を強化するとともに、生徒たち自身への訴求力もあるような発信内容の作成を行なって、学内の活性化がさらに図れるように工夫を施したい。	オ. 「ウェブページ・公式 SNS や広報誌は学園の取り組みを知るのに役立っている」についての評価が、どの評価者枠においても 80% 以上。	